

第38回



このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。今回は、東横線開業90周年を迎えた東急線に関する本を集めてみました。

『地図と鉄道省文書で読む私鉄の歩み 関東1 東急・小田急』

今尾恵介／著 白水社 2014年

昔から鉄道は許認可事業となっているため、鉄道会社などから数多くの書類が監督官庁に提出されていますが、鉄道史研究家の著者が、その文書と地図から鉄道会社の歴史を紐解いています。後に東急電鉄となった目黒蒲田電鉄と、後に吸収合併されてしまう池上電気鉄道との攻防など、鉄道会社の歴史を深く掘り下げています。



地図と鉄道省文書で読む私鉄の歩み 関東1 東急・小田急
今尾恵介 白水社



東急今昔物語
宮田道一
戎光祥出版

『東急今昔物語 ー前身会社から現代に至る東急の歴史を徹底紹介ー』

宮田道一／著 戎光祥出版 2016年

趣味的な観点から、東急電鉄の開業時から現代までの歴史を、多くの写真を交えながら、わかりやすく紹介しています。東急電鉄OBの著者ならではの奥深い文章で読み応えがあります。

『東急東横線あるある』

寺井広樹／著 村神徳子／著 にゃほこ／画 TOブックス 2017年

通勤通学などで毎日のように乗っている方にも、あまり乗らない方にも、ちょっと気になる東急東横線の小ネタがギュッと詰まっている1冊。読んでみれば「そうだね!」とうなずいたり、「へえ〜そうだったんだ」と意外に感じたり、読む人それぞれ違う感じ方があるはず?



東急東横線あるある
寺井広樹・村神徳子
TOブックス



東急電鉄
生田 誠
アルファベータブックス

『東急電鉄 ー街と駅の1世紀 東急電鉄 各駅今昔散歩 大正・昭和の街角を紹介ー』

生田誠／著 アルファベータブックス 2015年

東急線各駅の昔と今を、写真で対比しています。昔の写真を見て「懐かしい!」と思うか、意外に思うか。

『東急全線古地図さんぽ ー懐かしい東急沿線にタイムトリップー』

坂上正一／著 フォト・パブリッシング 2018年

様々な時代の地図を見比べることで、駅周辺が変わったところ、変わっていないところを探することができます。本書には載っていない現在の地図と見比べると、さらに楽しめるかも?



東急全線古地図さんぽ
坂上正一
フォト・パブリッシング

かわりゆくまち 川崎百景～さとう菊夫企画展～を終えて

「かわりゆくまち 川崎百景 ～さとう菊夫企画展～」を2019年1月29日から2月3日までタワーリパーク3F展示室で、川崎区誌研究会、川崎市文化財団と共同で開催しました。

今年は20数年から40年ほど前の川崎の四季、田園風景、名所、藁葺の民家等を描いてこられた、さとう菊夫さんの画集「川崎百景」を題材に、貴重な原画や資料、そして現在の風景写真を合わせて展示しました。展示物の設営に際しては、「川崎百景」を各区ごとに分けた上で現在の写真と容易に比較できるように配置し、藁葺の民家の模型や絵はがき集等はガラスケースに並べ、来場者が見やすいよう工夫しました。連日大盛況であり、延べ500人以上の来場者数となりました。

アンケート結果によると「素晴らしい絵と写真をありがとう。」や「南部から北部へキャラバン企画展をお願いします。」、「自分の生い立ち、時代の流れと重なり心安らぐひとときを過ごせた。」等、たくさんのさとう菊夫さんへの感謝の言葉が綴られていました。



「かわりゆくまち 川崎百景」展示風景